

岡山県支部勉強会に出席しての報告

1, 日 時：11月11日（度）13：00～15：30

会 場：倉敷健康福祉プラザ 102 研修室 出席者：22 名

内 容：会員からの質疑に答える勉強会

講師 心臓病センター榊原病院 循環器内科部長伴場主一先生^{きみかず}

日本メドトロニック株式会社様 2 名

勉強会の内容の要旨

① PM と交換について

心臓は筋肉でできている脈数が 40 以下になると PM 装着の目安である。診断は心電図がもっとも有効で装着を判断する。PM は電流で筋肉を無理矢理収縮させ、洞結節や房室結節を刺激し心室の筋肉を動かす、生命に関わる脈の保障をしている。

交換は PM 本体、リードに問題がなければ 1 時間～2 時間位で交換ができ、1 週間ぐらいの入院で行われる。最近 PM も MRI 対応の希望者が多いが、これまでの装着者でリードが MRI 対応ではないと交換の時も対応に出来ないのが残念との事。

② リードレス PM について

現在は PM 装着者の約 3 割の方がリードレス PM を装着している。

交換が出来ないが足の付け根から挿入するため、身体の負担も少ないので比較的年齢の高い方が多い。また鎖骨下の筋肉を動かす動作の頻度が多い（断線が起きやすい）人も選択している。

人間の手の小指ぐらいの大きさで心室に留置する、この場合良好な場所を探す事が重要で先端の釣り針のような部分を使う。

通常の PM との違いは（感染に強い、早期に退院、美容上良い等）であるが、まれに心臓の穿孔が起きるリスクがある。

※ 2 時間に及ぶ質疑応答は、様々な不安、悩み、装着をする迷い等が話され、伴場主一先生、日本メドトロニック株式会社 碓守宏和様、中野賢哉様にご指導をいただいた。

次に、支部長 宇野昭正様が装着されるまでの医師との関わりと、ライフワークのトライアスロンの練習と、リードレスペースメーカー装着の経緯を撮ったビデオ鑑賞を行った。

※最後に宇野昭正 岡山県支部長、四国から出席いただいた香川県 藤本逞様、高知県 吉川香代様と意見交換を行った。今後の活動をどのようにするのか？

- ①最初に岡山県の分会として四国各県で交流会を計画していただき、徐々に参加者を増やせたらと思う。
- ② 高知県では病院主導で“耳の日”“皮膚の日”と題し、様々な部位の疾患をもつ患者が集まっているので、“ハートの日”等が出来たら良い。そこをきっかけに何かしたいと考えている。
- ③ 広報のやり方を話し合う～新聞社に依頼し取材をお願いする。各市の広報誌も活用したい。
- ④ 四国といっても広さがあり問題は多々あるが、準備委員を募り、本部と協働で地域活動に向けて動き出していきたい。